

## 当社単独決算における経常利益・四半期純利益の変動要因

### ○ 平成31年3月期第3四半期実績（対前年同期比較）

(億円)

	31年3月期第3四半期 実績 ①	30年3月期第3四半期 実績 ②	増減 ①－②
売上高	5,100	4,986	113
営業利益	262	98	163
経常利益	181	△ 4	185
四半期純利益	107	10	96

### 【経常利益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水力発電量の増加による燃料費の減少 140</li> <li>■ 経営基盤強化による効率化 64 (資機材調達コストの低減、 創意工夫による工事工程の見直しなど)</li> <li>■ 燃料費調整制度の影響による 売上高の増加 210</li> <li>■ 販売電力量の減少による燃料費の減少 115</li> <li>■ 火力発電所定期検査費用の減少 51</li> <li>■ その他 81 (・支払利息の減少 ・固定資産除却費の減少 など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平成30年北海道胆振東部地震による影響 65 (・節電にご協力頂いたこと等による収入の減少など 20 ・石油火力発電所等の焚き増しなど 45)</li> <li>■ 燃料価格の上昇による燃料費の増加 242</li> <li>■ 販売電力量の減少による売上高の減少 139</li> <li>■ 石狩湾新港発電所1号機試運転開始による影響 30 (減価償却費の増加など)</li> </ul>
差し引き 185億円 好転	

※「販売電力量の減少による燃料費の減少」および「販売電力量の減少による売上高の減少」は、平成30年北海道胆振東部地震による影響を除く。

### 【四半期純利益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 経常利益の好転 185</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 法人税等の増加 20</li> <li>■ 渴水準備金の引当・取り崩し 26</li> <li>■ 特別損失の計上 41 (平成30年北海道胆振東部地震による 設備の復旧費用など)</li> </ul>
差し引き 96億円 好転	